

公益社団法人千葉青年会議所
2019年度 基本方針

公益社団法人 千葉青年会議所
2019年度理事長予定者
川端 創

基本理念

人の支えになり、人の支えを広げ、地域の支えとなる

スローガン

一心

～新たなる旅立ち～

基本方針

1. 千葉青年会議所の存在価値
2. 心豊かな青少年の育成
3. 未来に向けた「まち」づくり
4. 魅力ある組織と会員拡大の推進
5. 組織力の強化
6. 次世代を担う魅力あふれる「ひと」づくり
7. 地域との絆の再構築

◆はじめに～

1949年、「恒久的世界平和」を根底に「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、情熱をもった青年有志による東京青年会議所設立から、日本の青年会議所運動は始まりました。地域に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生し、わがまち「千葉」にも1960年9月に千葉青年会議所が設立され、本年、2019年度は創立60周年を迎えます。我々は行動綱領として「個人の修練」「社会への奉仕」「世界との友情」の三信条を根底に、社会を生き抜く力を身につけ、地域経済や社会に貢献しうる人材を常に輩出しつづける組織としてさまざまな運動を展開してまいりました。

60年の間に現代社会は時代と共に変化し、技術革新により大変便利な世の中となりました。ITの普及により誰でも、時間や距離に関係なくコミュニケーションをとることによって、人間関係の希薄化が指摘され、狭く深い人間関係から広く浅い人間関係に変わってしまっています。我々が子供の頃、パソコンはもちろん、インターネットや携帯電話の普及もしておらず、人とのコミュニケーションを大事にしていたのではないのでしょうか。現代社会の利便性・効率化と引き換えに人と人の繋がる機会が減少して、心の繋がりが薄れてきたと考えます。

人は、ひとりでは生きていけません。だからこそ「心」を持って支え合う必要があると考えます。私たちJAYCEEが、「人」と「人」、「心」と「心」でつながる社会を構築することで明るい豊かな社会の創造のために率先して行動し続けていきたいと思います。

1. 千葉青年会議所の存在価値

我々は、地域に必要とされる団体であり続けることが、存在価値であると考えます。青年会議所ってどんな団体かと聞かれ、どの様に説明しますか。まちづくりに参画している団体は数多くあり、様々な分野で活躍しています。では、それらの団体と青年会議所の違いはなんなのでしょうか。それは、60年という長い歴史とこれまで培われた素晴らしい伝統を継承し、実践してきた事だと考えます。我々が、千葉青年会議所に脈々と流れている伝統を実践し、次世代へと引き継いでいくことで、これまで以上に地域に必要とされる団体であり続けられると確信します。

2. 心豊かな青少年の育成

技術革新により利便性・効率化の追求をしている現代社会において、携帯電話やスマートフォンは一人一台が当たり前で、さらにITライフラインの普及により、どこにいてもインターネットに接続できる環境となりました。昨今の青少年を取り巻く生活環境も、大きく変わってきています。ITの著しい発展により、バーチャルリアリティーの世界で時間や距離に関係なく、コミュニケーションすることが増えて人と人の関係性が希薄化することによって、仲間との絆の構築や集団遊びの中で学ぶ豊かな心を育む機会が減少しつつあります。まず、自分を知ってもらい、仲間のことを知りたいと思う好奇心を養い、仲間を知ることによって絆が生まれます。そして、絆が生まれることによって、心の結びつきが生まれ、心に余裕をでき、豊かな心が醸成します。豊かな心は、社会性をもった青少年を育むと考えます。

3. 未来に向けた「まち」づくり

わがまち千葉は、駅前の開発と大型店舗の進出と共に時代が流れてきました。しかし、近年、駅前の再開発によって、まちの輝きが一極集中してしまった反面、大型店舗の閉店が相次ぎ、地域社会の輝きが薄れて、地

域全体の活気が低迷しつつあります。地域社会によって育まれていた郷土愛が薄れていき、心を育めない土壌につながります。まずは、我々青年会議所が改めてまちの魅力を灯す機会を提供し、地域市民の郷土愛を育みます。そして、我々青年会議所と地域市民が自主的に参加できる運動を共に展開していくことで、今後の地域の発展へつながると確信しております。

4. 魅力ある組織と会員拡大の推進

近年、全国的に青年会議所の会員数は減少し続けており、千葉青年会議所の入会員数も低迷しております。このままでは、我々の運動を発信し続けることは愚か、LOMの存在さえも危ぶまれる状況となりかねません。なぜ会員が入会しないのか。これは、経済状況や人口減少だけではありません。我々すべてのメンバーに原因があるのではないのでしょうか。入会した当初の高い志を日々の忙しさと時間に追われる事で忘れてしまい、気概を持って行動していない心こそが会員拡大を推進出来ない事に結びついていると考えます。青年会議所活動を通して、人間力を高め、魅力ある人間となり、メンバー一人ひとりの心が一つになる組織となれば、会員拡大につながると確信します。

5. 組織力の強化

本年度で 60 年目を迎え、伝統と歴史によって築かれ、成長を続けてきた組織規範があります。伝統をしっかりと実践する為にも、組織規範に向き合うことが重要であり、そして、次世代へより強固な組織を繋いでいくためにも現メンバー一人ひとりが、改めて組織規範と向き合う必要があると考えます。

6. 次世代を担う魅力あふれる「ひと」づくり

青年会議所は、地域を継続的に発展させることが出来る次世代を担う魅力あふれるリーダーを育成する場であると考えます。次世代を担う魅力あるリーダーとは、「ひと」を巻き込み、「組織」を巻き込み、「地域」を巻き込んでいくと考えます。「ひと」を巻き込むには、相手を思いやる気持ちが必要です。相手を思いやる気持ちを養うには、まず、「相手を理解する」という認知と「相手のために心を痛める」という愛情によって自己中心性を抑制し、謙遜心を養います。そして「相手のためにありたい」という動機が生まれ、思いやりを持つ人間性にあふれる人材を輩出します。だからこそ「人は人によって磨かれる」のです。

7. 地域との絆の再構築

近年、わがまち千葉でまちづくりに参画している団体は数多く存在し、様々な分野で活躍している中、千葉青年会議所が地域に必要とされる団体であり続けるためにも多くの方に我々の運動方針と活動内容をご理解・ご賛同頂く必要があります。そして、先輩諸兄はもちろんのこと市民・行政・関係諸団体と交流する機会を提供することで信頼関係を深め、地域との絆が再構築出来ると考えます。そして、青年会議所メンバーが、世界・日本各地に広がる同志の運動に積極的に参加し、数多くの交流をすることで様々な経験を得て、自己研鑽や千葉青年会議所活動に活かして欲しいと考えます。

◆結びに

人生最期の瞬間をどのような気持ちで迎えたいですか。わたしは、心豊かに人生を振り返っている最期を迎えたいと思っています。しかし、どんなに便利な時代になって、世の中が豊かになったとしても、心は豊かにならないと考えます。人は一人では生きていけないですし、ただ人がいるだけでも、心豊かな人生を送ることは、出来ないと思います。だからこそ、人が人を支え、心が心を支え、人を思う気持ちを派生させ、人を愛し、地域を愛

することで、わたしたちの心も豊かになると信じています。

人生最後の学び舎といわれる青年会議所で、大切な仲間に出会い、共に数多くの経験や気づきを頂ける機会を59年間の長きにわたり紡いで下さった先輩諸兄に感謝し、素晴らしい伝統を継承することに誇りと覚悟をもって明るい豊かな社会の実現に向けて共に邁進していきましょう。